



陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2012年6月-7月号
Vol.26

支援者の皆様へ

結婚しました

5月12日に東京都練馬区の聖書キリスト教会で挙式し、牧純子さんと結婚いたしました。多くの方々の祈りと励ましによって私たちは結婚まで導かれました。2人が結婚に導かれた証を同封させていただきます。

結婚式当日、私たちの友人で絵本作家の亀岡亜希子さんが描いてくれた結婚式のウェルカムボードに、「早く行きたいなら一人で行きなさい。遠くまで行きたいなら一緒に行きなさい」というアフリカの諺を書かせていただきました。

私たちはこれから2人で助け合って神様のために生きていきたい、という結婚生活の抱負を抱くと共に、全国の支援者の皆様とも一緒に、「共に喜ぶ世界」を目指して労し成長していきたいと願っています。今後も皆様のお祈り、お励ましによって成長し共に仕えていくことが出来れば幸いです。



活動報告

奉仕と活動 (2012年4月~5月)

月日	内容	場所
4月4日	百万人の福音 取材	いのちのこば社 (中野区)
4月23~24日	F V I 役員会	万座温泉ホテル
継続的に	全人宣教フォローアップと励まし	国内各地
継続的に	F V I 事務局の働き	練馬、立川など各地

4月、5月は、結婚式前後の個人的な予定のため、F V I 役員会やホームページ更新などの事務作業等のほかには各地での奉仕活動はいたしませんでした。6月から再び各地での活動に励んでまいります。お祈りをよろしくおねがいします。

祈りの課題

◇2人が良いチームワークで神に仕えることが出来るように。人々の祝福となる家庭を築けるように。

◇私の内に、キリストの似姿が造られるように。

◇各地での奉仕を通して、人々が励まされ、神が栄光をお受けになるように。

◇アメリカでのパートナーの交わりのため

今後の予定

月日	内容	場所
6月4～6日	関東学院高校1年生修養会で講演	箱根 富士箱根ランド
6月10日	ビジョン・カンファレンス	鎌倉雪ノ下教会
6月18-24日	DNAリトリート	アリゾナ (アメリカ)
7月8日	礼拝説教	練馬グレースチャペル
7月21-22日	陣内俊の聴き方講座	新潟グレースネット
8月19日	ビジョン・カンファレンス	伊那福音教会
10月8日	WFD登別大会	登別市 (北海道)
10月後半	弘前学院大学で講演、授業	青森県弘前市
随時継続的に	F V I 事務局の働き	練馬など各地

連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」

Email shun@karashi.net ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援にご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名 (店番)：〇八九 (ゼロハチキュウ) (089) 預金種目：当座
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」
(同封の振込用紙がご利用いただけます。)

* ブログから Prayer Letter をダウンロードくださった方で、振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。振込用紙、ご案内を送らせていただきます。

* 2カ月に一度、プレイヤーレターに2枚(2か月分)お送りさせていただく振替口座の振込用紙(赤色・手数料当方負担)を同封させていただきますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。

* Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。

結婚の証（牧純子）

私が高校一年生の時です。母に、「結婚相手のために今から祈ると良いよ。どんな人が良いか具体的に書き出して祈ってごらん。神様はその思いや願いを受け止めて下さるんだよ。」と言われ、私も書き出しました。それは、【1. クリスマス 2. おもしろい人 3. お父さんのように家族思いで、仕事ができる人 4. 背が高い人 5. 細い人 6. 守ってくれる人 7. カッコいい人 8. 私の全部を理解して、すごく愛してくれる人 9. 私の家族と気が合う人 10. 将来はげない人 11. 服のセンスが良い人 12. ゆっくん(兄)みたいな人】でした。

それから、様々な出会いや出来事を通して、自分の人生、使命、家庭について神の御心を祈り求めていく中で、『あなたを輝かせる10章』という書物を通して、独身時代こそ自分を磨き、神様との関係を築くことができる、またとない時だということをお教えされました。また、母から、「もう神様は既に、あなたにとって一番良い方を備えてくださっている。それを信じて、伴侶となる方の心や健康が支えられるように祈ってごらん」と励まされ、「伴侶となる方と早く出会わせてください」という祈りから、「伴侶となってく下さる方の体調を支え、神様に喜ばれる歩みができますように。私もその方にふさわしい者として変えて下さい。そして、神様の一番良いときに出会わせてください。」という祈りに変わった時に、相手と出会える時を楽しみに待つ思いが生まれてきました。幼かった「願いのリスト」から始まりましたが、神様はその思いを受け止めて下さり、整えて下さり、私自身を変えてくださいました。

2005年に就職した幼稚園で勤めていく中で、子どもたち、保護者、また同僚に神様のことを伝えたいという思いが募りました。また、両親を通して注いでもらった沢山の愛情と神を敬う人生の素晴らしさを、将来授かるだろう子ども達に注ぎ伝えていくことが、私の使命にも思えました。そして、神様のために生きる人と結婚し、その方の支え手になりたいという思いが強くなっていきました。それらのことを祈っていく中で、2009年の夏、もう一度リストを書き直しました。

それは、【1. 私よりも神様を愛する、神様を第一にする人 2. 神様の呼びかけに応答しようとする人 3. 神様に全幅の信頼を置く人 4. 伝道に対して情熱がある人 5. 感受性豊かな人、人の悲しみに寄り添う人 6. 自然を愛する人 7. 謙虚な人 8. 仕える人 9. 祈る人、神様との個人的な関係を祈りの中でしっかりと築いている人 10. 家族を愛し、守ってくれる人 11. 神様の栄光のために子どもを育てたいと強く願い、導いてくれる人 12. 怒鳴らない人、感情の面で成熟している人 13. 私の家族と仲が良く、大切にしてくれる人 14. 私が全ての面において、尊敬できる人 15. 一緒にいて楽しい人】でした。こんな男性がいるのか！と、思いながらも祈っていく中で、神様は陣内俊さんと出会わせてくださいました。

一昨年(2017年)の1月に戻りますが、陣内俊さんの存在を知り、彼が毎日書いているブログを読みました。安定した生活を離れ、自分の人生を捧げて神様に従う姿、また、人に仕え、愛を注ぐことに情熱をかけている姿に感銘を受けました。その後、陣内さんと会う機会が何度か与えられ、その半年後に電話で話すようになりました。それから、一緒に出かけるようになり、文通も始めました。会える時間が少ない分、文通を通してお互いの心の内を丁寧に伝え合うことができました。男性に対して、心の深い部分を開くことが難しい私に、陣内さんは辛抱強く向き合い、話を聞いてくれました。神様に祈っていく中で、この人だ！という思いが強くなっていきましたが、結婚を考える時、彼のしている様々な働きを思うと、彼の支え手となれるのか、という不安がありました。けれども神さまは、沢山の方々を通して私を励まして下さいました。定期的に結婚カウンセリングをして下さった練馬グレースチャペルの横田牧師夫妻を通して、お互いを見つめあうのではなく、神様の十字架を共に見上げることの大切さを教えていただきました。また、父から、「二人が一緒にいることが自然で、安心することが大切なんだよ」という言葉にもはっとさせられました。何より、神様を愛し、仕える姿勢が真っ直ぐな彼と家庭を築き、神様を証する夫婦になりたいと思うようになりました。そして、友達としての交際期間を経て、一昨年(2017年)の10月に結婚を前提にしたお付き合いが始まり、結婚を迎えることができました。三浦綾子さんは「恋愛とは、意志、感情、理性が深く美しく統一されていなければならない」という言葉を生前残されました。一年半の交際期間を経て、その言葉の持つ意味や深さを学ばせて頂きました。神様に心から感謝いたします。

結婚の証（陣内俊）

私は、1977年に3人兄弟の2番目として生まれました。北海道の大学に進学し、18歳のときに帯広の教会で私は洗礼を受けました。信仰を持ってからほどなく、いつか海外に出て行ってイエス様の愛を現すような働きをしたい、と願うようになりました。大学卒業後は獣医師として市役所に就職し公衆衛生行政に携わりましたが、それでも「海外に行って宣教したい」という思いをどうしても消すことが出来ず、2008年に6年間お世話になった市役所を退職しました。その後インドやアフリカなどで実習を経て、現在は「声なき者の友」の輪（FVI）、というNGOのスタッフとして活動しています。

私はクリスチャンになってからずっと「結婚」を願い、神に祈り求めてきました。祈り始めて15年ほどが経過し、半分以上結婚をあきらめていた2010年の1月に、私は牧純子さんという人と出会いました。少しずつお互いを知りあううちに、私は純子さんと結婚することが神様の御心なのではないかと確信するようになりました。私は「純子さんが、神が備えた結婚相手であると信じる4つの理由」を挙げました。

1. 自分が祈ってきた祈りと、とても良く一致する相手だったこと。
2. 一緒にいて居心地が良い、ということ。
3. 「この地上での報いより、天での報いの方が大切」という人生観が一致していること。
4. 私よりも神様のことを愛しているし、今後もそうしてくれるだろうと思えたところ。

話が前後しますが、半分結婚をあきらめかけていたある日、私は、次の聖書の言葉に出会いました。「夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。」エペソ 5:25 自分が一番良く知っているこの弱い自分が、「キリストが教会を愛するように」不完全な誰かを愛する、ということが並はずれたことであることが、初めて心に迫り、胸にずしんと来ました。そのとき、「将来妻になる人をこのように愛することは、私の力ではできません。どうか私がキリストのように愛することが出来る男になることが出来るように、私を助けてください。私を変えてください。」と祈り始めました。私の祈りはそれまで「こんな結婚相手を与えてください」という祈りばかりで、この祈りはそれまで祈ったことのない祈りでした。それからほどなくして、私は純子さんに会いました。今振り返るとき、結婚を待っていたのは私ではなく神様のほうだったのかもしれない、もしかしたら神様は、私がこの祈りを祈るのを待っておられたのかもしれない、と思うようになりました。現在も不完全な私ですが、「キリストが教会を愛したように」妻を愛することが出来るよう、変えられ続けることを願います。

結婚式のとき、最も感謝を現したかったのは勿論両親、兄弟、恩師、友人たちであったのですが、それと同じくらい、これを読んでくださっている支援者の皆様に感謝の気持ちが溢れました。30歳で公務員を辞め、現在の働きに携わるようになってからは、皆様のお祈り、ご支援、御励ましがなければ私はこの結婚にも導かれることは出来ませんでした。皆様に心より感謝するとともに、これからも未熟な私たちのためにご指導、お祈りをいただければこの上ない喜びです。

2012年5月25日 陣内俊・純子

写真は新婚旅行先の沖縄本島南部にて

